

平成29年地価調査結果の概要

公表日：平成29年9月20日
秋田県建設部建設政策課

1 価格判定の基準日

平成29年7月1日

2 調査地点数

県内324地点(うち林地7地点)、全国21,644地点(うち林地505地点)

3 秋田県の地価調査結果の概要

①全用途

県平均変動率は▲3.0%(▲3.6%)となり、平成10年から20年連続して下落している。

②住宅地

県平均変動率
▲2.9%

人口減少が進む中、全体的な住宅需要は弱い。秋田市の市街地などで長年の地価下落による値ごろ感から、地価が上昇・横ばいとなる地点が見られることが要因となり、県平均変動率は、平成11年から19年連続して下落しているものの、▲2.9%(▲3.4%)とやや下落幅が縮小した。

秋田市・秋田市以外の地域別の変動率は、秋田市では▲1.2%(▲2.1%)、秋田市以外の地域では▲3.5%(▲3.7%)であった。

※()内は昨年の変動率。以下同じ。 ※変動率の対象地点は廃止や選定替えによって異なる。

③商業地

県平均変動率
▲3.1%

住宅地以上に商業地に対する土地需要は低迷しているものの、継続的な大幅下落により、商業地の価格が背後の住宅地に近づいており、底値感等から下落幅の縮小した地点が多く見られ、平成5年から25年連続して下落しているものの、県平均変動率は▲3.1%(▲3.8%)と下落幅が縮小した。

秋田市・秋田市以外の地域別の変動率は、秋田市では▲0.8%(▲2.0%)、秋田市以外の地域では▲3.5%(▲4.4%)であった。

④その他

宅地見込地は▲3.1%(▲4.7%)、工業地では▲3.1%(▲4.1%)と下落幅は縮小した。

⑤林地

県平均変動率は▲4.5%(▲5.3%)となり、平成7年から23年連続して下落している。

4 全国の地価調査結果の概要

- ・全 国 住宅地は下落幅が縮小し、商業地は横ばいから上昇
- ・三大都市圏 住宅地は前年並みの小幅な上昇、商業地は総じて上昇基調
- ・地 方 圏 住宅地、商業地とも下落幅が縮小
- ・東北地方 住宅地、商業地とも下落幅が縮小
- ・秋 田 県 住宅地、商業地とも下落幅が縮小

対前年平均変動率 (単位：%)

区 分	住 宅 地	商 業 地
全 国	▲0.6 (▲0.8)	0.5 (0.0)
三大都市圏	0.4 (0.4)	3.5 (2.9)
東京圏	0.6 (0.5)	3.3 (2.7)
地方圏	▲1.0 (▲1.2)	▲0.6 (▲1.1)
東北地方	▲0.8 (▲0.9)	▲0.7 (▲1.1)
秋 田 県	▲2.9 (▲3.4)	▲3.1 (▲3.8)

※1 三大都市圏…東京圏、大阪圏、名古屋圏

2 東北地方…青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県及び新潟県
〔国土交通省資料との整合を図るため新潟県を含める〕

3 ()は昨年

5 東北各県及び全国の平均変動率

(単位：%)

	秋田県	青森県	岩手県	宮城県	山形県	福島県	東北地方	全 国
住宅地	▲2.9 (▲3.4)	▲1.5 (▲2.0)	▲1.1 (▲1.1)	0.8 (0.6)	▲0.9 (▲1.0)	1.0 (1.5)	▲0.8 (▲0.9)	▲0.6 (▲0.8)
商業地	▲3.1 (▲3.8)	▲1.7 (▲2.3)	▲2.2 (▲2.5)	4.0 (3.4)	▲1.4 (▲1.6)	0.2 (0.4)	▲0.7 (▲1.1)	0.5 (0.0)

※()は昨年。「東北地方」とは、東北6県及び新潟県をいう。